



3. M100の詳しい手引き→公共施設や魅力あるお店と結ぶ楽しいコース

松本市民であっても知らない場所や、いったことのないお店は意外に多いのでは？旅行者や県内他地域の人はもっと知らないことが多いはずです。松本ならではの「ヘーヤなるほど」をみんなで考え、巡って魅力づくりをすすめてみましょう。きっと喜んでもらえるはずです。



3. 街を回遊して楽しんでもらえる仕組みを創りましょう

M100実行委員会を作って具体的な事を決めていきます。

●公募で選ばれたお店の有志 ●M100ボランティアスタッフ ●行政、大学、商工会議所の方々
新まつもと物語が事務局となり、運営します。初年度は10月～11月を予定しています。

★上記の結果から、イベントを仕掛けたいと思います。

★有名な観光施設である松本城、博物館、美術館、芸術館と組んだ回遊コースを構築します。

※たとえば／カルチャー教室＋おいしい散歩、歴史探訪＋土着的食べ物…みたいなコースです

効果1●施設の観光だけで帰っていた人たちを、街中に回遊させることで経済効果がうまれます。

効果2●個店が街のコンシェルジュを担うことで、観光都市としての水準が上がります。

効果3●個店が松本市や市民と繋がる・個店同士が繋がることで、より多くの情報が流通し、協働への意味をより理解し、助け合うことで日常活動の相乗効果が期待できます。

効果4●参加する市民ひとり一人の意識向上が予測でき、個店との結びつきもより強固な関係が生まれ、経済効果だけではない発展的な力を生み出せます。

